

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月2日

上場会社名 株式会社ミクシィ 上場取引所 東
 コード番号 2121 URL <http://mixi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠原 健治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長 (氏名) 荻野 泰弘 (TEL) 03(5738)5900
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,817	12.1	1,612	89.7	1,583	123.4	1,205	253.9
24年3月期第2四半期	6,081	△1.2	850	△49.7	708	△55.2	340	△52.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,184百万円 (250.7%) 24年3月期第2四半期 337百万円 (△53.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	8,077.15	8,069.42
24年3月期第2四半期	2,258.34	2,253.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,876	15,774	79.1
24年3月期	19,649	14,722	74.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,718百万円 24年3月期 14,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1,800.00	1,800.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	14,500	8.7	2,200	0.3	2,200	4.3	1,300	73.4	8,708.33
	~15,500	~16.2	~2,800	~27.6	~2,800	~32.8	~1,650	~120.1	~11,052.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、(添付資料) P. 4 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	155,106株	24年3月期	155,106株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	5,786株	24年3月期	6,000株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期2Q	149,263株	24年3月期2Q	150,833株
----------	----------	----------	----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当社は、平成24年11月2日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	6,081	6,817	12.1%
営業利益(百万円)	850	1,612	89.7%
経常利益(百万円)	708	1,583	123.4%
四半期純利益(百万円)	340	1,205	253.9%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、政府の経済対策等により徐々に持ち直しの動きが見られるようになりました。しかしながら、欧州の政府債務危機を背景にした世界経済の減速や、長期化する円高等により景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

インターネット関連業界におきましては、「2011年度通期国内携帯電話端末出荷概況」(株式会社MM総研)によりますと、平成23年度のスマートフォン出荷台数は前年度比2.8倍の2,417万台(総出荷台数の56.6%)となり、スマートフォンへの移行が加速しております。

このような経済環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,817百万円(前年同四半期比12.1%増)となり、営業利益は1,612百万円(前年同四半期比89.7%増)、経常利益は1,583百万円(前年同四半期比123.4%増)、四半期純利益は1,205百万円(前年同四半期比253.9%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① ソーシャルネット事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	5,624	6,287	11.8%
広告売上高(百万円)	4,064	2,696	△33.7%
課金売上高(百万円)	1,560	3,591	130.2%
セグメント利益(百万円)	1,701	2,374	39.5%
月間ログインユーザー数	1,516万人 (平成23年9月)	1,402万人 (平成24年9月)	—
スマートフォン 月間ログインユーザー数	448万人 (平成23年9月)	863万人 (平成24年9月)	—

ソーシャル・ネットワーキング サービス「mixi」におきましては、運営していくにあたっての最重要キーワードを改めて「ユーザーファースト」として掲げ、これを実現するため運営体制の変更を平成24年8月に行いました。具体的には、mixiのサービスごとに少人数の「ユニット」制を敷き、各ユニットが企画・開発・運用における意思決定を行う体制としました。少人数のユニットが裁量と責任をもってスピーディにサービスを運営するだけでなく、ユーザーの皆さまから直接意見を聞く場の設置・機能要望の対応強化、ログやABテスト等を通じた検証を通じ、より良いサービスを提供できるよう運営してまいります。このような体制により、各ユニットからスマートフォンを中心として機能改善や機能追加を実施しており、今後もスピーディにサービス提供・改善を進めてまいります。

収益面では、課金売上高においてスマートフォンアプリの課金ユーザーが堅調に推移したことにより、前年同四半期比130.2%増となりました。一方広告売上高においては、スマートフォン広告メニューの整備を進め、広告出稿社数も順調に拡大したものの、フィーチャーフォン広告が減少したことにより、前年同四半期比33.7%減となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,287百万円(前年同四半期比11.8%増)となりました。また、セグメント利益は2,374百万円(前年同四半期比39.5%増)となりました。

② Find Job !事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	456	498	9.3%
セグメント利益(百万円)	378	410	8.5%

Web系求人サイト「Find Job !」におきましては、Web系の求人情報に特化することにより他社との差別化を図ることで収益の拡大を目指してまいりました。そのような中Web業界の求人動向は回復傾向にあり、取引社数も堅調に推移してきております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は498百万円（前年同四半期比9.3%増）、セグメント利益は410百万円（前年同四半期比8.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が16,557百万円（前連結会計年度末比764百万円増加）となり、主な要因としては、現金及び預金の増加があげられます。固定資産は3,319百万円（前連結会計年度末比538百万円減少）となり、主な要因としては、投資その他の資産及び有形固定資産の減少があげられます。

負債については、流動負債が4,032百万円（前連結会計年度末比815百万円減少）となり、主な要因としては、未払法人税等の支払いによる減少及び預り金の減少があげられます。固定負債は69百万円（前連結会計年度末比9百万円減少）となりました。純資産は15,774百万円（前連結会計年度末比1,051百万円増加）となり、主な要因としては、利益剰余金の増加があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は9,450百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は1,694百万円（前年同四半期は291百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,937百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動により獲得した資金は483百万円（前年同四半期は1,755百万円の使用）となりました。これは主に、関係会社株式の売却による収入465百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は137百万円（前年同四半期は1,905百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間におきましては、売上高はスマートフォン広告メニューの整備を進め、広告の出稿社数も拡大したことから、スマートフォン向けの広告販売が順調に推移しました。

利益については、売上が順調に推移したことに加え、当期より進めている事業スピード向上にむけた内製化等によりコストの抑制効果が継続したことから、営業利益が業績予想を上回りました。また、関連会社株式の譲渡により特別利益が発生したため四半期純利益も増加しております。

なお、通期業績予想につきましては、下期にかけても様々な施策や投資を予定しており、平成24年5月11日に公表した予想を据え置いております。今後予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,423	12,450
売掛金	5,073	3,900
その他	461	429
貸倒引当金	△165	△223
流動資産合計	15,792	16,557
固定資産		
有形固定資産		
建物	432	435
減価償却累計額	△66	△89
建物(純額)	366	345
工具、器具及び備品	2,587	2,547
減価償却累計額	△1,697	△1,811
工具、器具及び備品(純額)	890	735
その他	2	3
減価償却累計額	△0	△0
その他(純額)	2	3
有形固定資産合計	1,258	1,084
無形固定資産	317	203
投資その他の資産		
その他	2,282	2,032
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,280	2,031
固定資産合計	3,857	3,319
資産合計	19,649	19,876
負債の部		
流動負債		
未払金	946	778
未払法人税等	907	557
預り金	2,709	2,393
賞与引当金	185	194
その他	99	108
流動負債合計	4,848	4,032
固定負債		
資産除去債務	21	21
その他	57	47
固定負債合計	78	69
負債合計	4,926	4,102

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,765	3,765
資本剰余金	3,735	3,735
利益剰余金	8,955	9,960
自己株式	△1,753	△1,690
株主資本合計	14,704	15,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	△32	△53
その他の包括利益累計額合計	△32	△53
新株予約権	50	56
純資産合計	14,722	15,774
負債純資産合計	19,649	19,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	6,081	6,817
売上原価	2,037	1,968
売上総利益	4,043	4,849
販売費及び一般管理費	3,193	3,237
営業利益	850	1,612
営業外収益		
受取利息	4	5
投資事業組合運用益	8	3
その他	4	6
営業外収益合計	16	15
営業外費用		
持分法による投資損失	131	14
為替差損	12	29
その他	13	0
営業外費用合計	157	44
経常利益	708	1,583
特別利益		
関係会社株式売却益	—	406
その他	—	7
特別利益合計	—	413
特別損失		
固定資産除却損	14	3
のれん償却額	—	56
その他	1	—
特別損失合計	16	60
税金等調整前四半期純利益	692	1,937
法人税、住民税及び事業税	372	575
法人税等調整額	△10	155
法人税等合計	362	731
少数株主損益調整前四半期純利益	329	1,205
少数株主損失(△)	△10	—
四半期純利益	340	1,205

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	329	1,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△0
為替換算調整勘定	8	△20
その他の包括利益合計	8	△20
四半期包括利益	337	1,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348	1,184
少数株主に係る四半期包括利益	△10	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	692	1,937
減価償却費	307	233
のれん償却額	4	69
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	48	57
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	8
受取利息及び受取配当金	△4	△5
為替差損益 (△は益)	9	18
持分法による投資損益 (△は益)	131	14
投資事業組合運用損益 (△は益)	△8	△3
固定資産除却損	14	3
関係会社株式売却損益 (△は益)	1	△406
売上債権の増減額 (△は増加)	280	1,171
未払金の増減額 (△は減少)	△628	△158
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△41	22
預り金の増減額 (△は減少)	93	△315
その他	29	△36
小計	940	2,612
利息の受取額	5	7
法人税等の支払額	△1,236	△924
営業活動によるキャッシュ・フロー	△291	1,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000	△2,000
定期預金の払戻による収入	2,000	2,000
有形固定資産の取得による支出	△666	△28
無形固定資産の取得による支出	△43	△5
投資有価証券の取得による支出	△472	△25
投資有価証券の分配による収入	34	22
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△497	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△243	—
関係会社株式の売却による収入	—	465
貸付金の回収による収入	320	—
その他	△186	53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,755	483
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△1,753	—
自己株式の処分による収入	—	10
配当金の支払額	△153	△147
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,905	△137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,953	2,027
現金及び現金同等物の期首残高	11,293	7,423
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,339	9,450

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル ネット事業	Find Job ! 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,624	456	6,081	—	6,081	—	6,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43	1	44	—	44	△44	—
計	5,668	457	6,126	—	6,126	△44	6,081
セグメント利益	1,701	378	2,080	—	2,080	△1,230	850

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,230百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソーシャルネット事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間に株式会社ネイキッドテクノロジーの株式を取得し、新たに連結子会社としたことに伴い、のれんが502百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間における当該事象によるのれんの償却額はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ソーシャル ネット事業	Find Job ! 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,287	498	6,786	31	6,817	—	6,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	14	14	△14	—
計	6,287	498	6,786	45	6,832	△14	6,817
セグメント利益又は損 失 (△)	2,374	410	2,785	△72	2,713	△1,100	1,612

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スマートフォンアプリの開発や米国における市場調査を行う事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,100百万円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。